

下水道だより

未来に引き継ぐ下水道 vol.23

令和6年10月16日発行
経営企画課

☎237-5801 FAX 237-5819

津市の下水道事業をもっと知っていただくために、下水道事業の現状や課題、経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は、下水道事業会計の令和5年度の決算状況について見ていきます。

令和5年度決算(下水道事業会計)を見てみよう！

収益的収支

収入…約 105 億円 支出…約 94 億円

収入

下水道使用料
約 22 億円

長期前受金戻入
約 37 億円

一般会計からの繰入金
約 42 億円

うち基準外繰入金
約 5 億円

その他
約 4 億円

支出

汚水処理の費用
約 23 億円

雨水処理の費用
約 4 億円

減価償却費
約 56 億円

その他
約 11 億円

純利益※
約 11 億円

※約11億円の利益が生じていますが、これは現金収入のない長期前受金戻入(約37億円)によるもの

資本的収支

収入…約 66 億円 支出…約 96 億円

収入

借入金
約 41 億円

補助金
約 24 億円

その他
約 1 億円

不足額(約 30 億円)

収入の不足分については、減価償却費などで積み立てた資金で補いました

支出

汚水処理事業
約 25 億円

雨水処理事業
約 17 億円

借入金の返済
約 51 億円

その他
約 3 億円

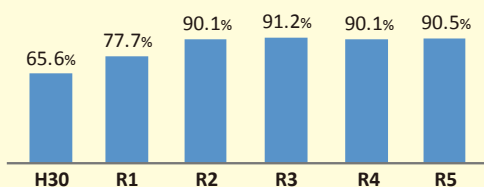


令和5年度の決算が出たんだね。収益的収支はどんな状況だったの？



経営分析を行うための指標の一つである経費回収率を使って説明するね。この指標は、その年の汚水処理に必要な費用がどれくらい下水道使用料で賄われたかを表しているんだ。

経費回収率の推移



ここ数年は、約90%くらいだね。



経費回収率が100%を下回っているということは、使用料よりも汚水を処理する費用の方が大きくて、基準外繰入金を加えて賄っているということなんだ。



基準外繰入金って、なに？



下水道事業は、汚れた水をきれいにする汚水処理事業と、浸水対策を行う雨水処理事業があるんだ。2つの事業のうち、汚水処理事業については、原則、使用料収入などで費用を賄うんだけど、不足分が出た場合はやむを得ず一般会計から繰入金をもらうんだ。これを基準外繰入金というんだよ。



不足分は税金で賄われているんだね。



経営状況は厳しいけれど、下水道事業は、汚水が滞留しないようにすることで公衆衛生を確保したり、雨水を排除することで浸水被害を防いだりしているよ。どちらも適切に処理して川や海の水質を保全するための重要な事業だから、費用がかかっても継続していく必要があるんだ。



とても大切な事業なんだね。



次に資本的収支について見てみると、主な事業としては汚水処理事業と雨水処理事業があるよ。詳しくは次のページで解説するよ。